

活動概要

「誰でも食育先生育成プロジェクト」は、食に関心があれば年齢、性別を問わず誰でも応募でき、講義や食育健診、グループワークを通して、正しい食育の知識を身につけられます。食育先生の学びを、独自のグレード認定制度で評価します。グレード認定者には、食育講師としての活動の場も提供しています。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	誰でも食育先生育成プロジェクト
対象となる地域・企業等	(参加対象) 本学学生、地域住民 (連携先) フジッコ株式会社
活動学生(ゼミ・学年等)	大学生、短大生全学年対象
連携時期	毎年3月に募集 年間講座(2008年～現在に至る)
学外への広報方法	学院、研究所ホームページおよびチラシ、市政ニュース等
連携内容	<p>講義によって、食育の基礎知識を身につけた食育先生は、グループワークを通して、食育講座「食育を楽しむ会」で提供するお弁当の献立作成や食育プログラムの計画と実施を行います。これらの活動により、能動的に食育の学びを深めることができます。</p> <p>また、フジッコ株式会社との連携により、1年間で作成されたお弁当による献立コンクールも実施しています。優秀な献立は、フジッコ株式会社社員食堂メニューにも選定されています。</p>
成果	2016年度末で、のべ347人の食育先生を育成できました。この中から、既に多くの食育講師や助手が誕生し、Healthy+の食育講座だけでなく、自主講座も開催するなど、地域の食環境改善に取り組んでいます。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

農水省の補助事業で行った食育プログラムでは、栄養の専門でない高校生が小学生へ野菜を食べる大切さを中心に伝える内容であったが、小学生はその内容を理解し、実践しようとする姿勢が確認できた。また、指導する側に立った高校生自身も、自分たちの野菜の摂取量が少ない事に気付き、食の改善意識が高まった。その経験から、一般の方々が食育指導をする立場になってもらう事で、自分自身の食の意識を高めてもらう事と、指導される側内も、同じような立場の方が勉強をされている姿勢を見て、同じ様に食の意識を高める相乗効果を期待した取組となっています。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)



食育先生参加者アンケートより

- ♪ 食育先生という教える立場で、食育講座に参加して人に何かを伝えることの難しさを体験できました。
- ♪ この活動が、就職活動の際にとっても役立ちました。
- ♪ 異世代での活動は、いろいろな発見があり楽しかった。

上：講義の様子

下：食育講座で活躍する食育先生